

人文社会科学研究科（学際系）教員 2017 年度主要研究業績

（著訳者名あいうえお順）

- 新井高子「大船渡の女性詩人による震災詩——金野孝子と中村祥子」『未来』、589 号、2017 年、9-17 頁。
- 新井高子「詩の種子を東北にもとめて」『荒ぶるゆりかご：三・一一の惨事への詩的な応答』城西大学出版会、2018 年、34-39 頁。
- 新井高子「大船渡ノート 4——言葉を考える」『ミで一詩と批評』140 号、2017 年、1-3 頁。
- 新井高子「大船渡ノート 5——言葉を考える」『ミで一詩と批評』141 号、2017 年、1-4 頁。
- 新井高子「大船渡ノート 6——言葉を考える」『ミで一詩と批評』142 号、2018 年、1-4 頁。
- 井口壽乃「第 6 章 美術と政治」および「第 7 章 美術とさまざまなメディア」、井口壽乃・田中正之・村上博哉『西洋美術の歴史 8——20 世紀 越境する現代美術』中央公論新社、2017 年、433-484page 頁および 485-544 頁。
- 山口勝弘著、井口壽乃編・解説『生きている前衛——山口勝弘評論集』水声社、2017 年。
- 井口壽乃「第 13 章ハンガリー・アヴァンギャルド・アート」、「第 17 章 ハンガリー・セセッション建築」および「18 章ハンガリーの工芸」、羽場久美子編『ハンガリーを知るための 60 章 第 2 版』明石書店、84-88 頁、104-107 頁および 110-114 頁。
- 一ノ瀬俊也『飛行機の戦争 1914-1945 総力戦体制への道』講談社（講談社現代新書）、2017 年。
- 一ノ瀬俊也「民衆に航空戦のあり方を教える権力 太平洋戦争期の軍事知識解説書をめぐって」『史学研究』296 号、2017 年、1-15 頁。
- 一ノ瀬俊也「日本陸軍の中国観 大本営陸軍部・北支那方面軍作製の戦訓マニュアルをめぐって」笹川裕史編『戦時秩序に巣喰う「声」——日中戦争・国共内戦・朝鮮戦争と中国社会』創土社、2017 年、21-53 頁。
- 市橋秀夫「序章バランゴンバナナ民衆交易の歴史と特色」および「第 1 章バランゴンバナナ民衆交易の語りかた・語られかた——ネグロス島の零細バナナ生産者の事例調査から」、石井正子・関根佳恵・市橋秀夫『バナナとフィリピン小規模零細農民——バランゴンバナナ民衆交易の現状と課題』、埼玉大学教養学部リベラル・アーツ叢書、埼玉大学教養学部、2018 年、15-26 および 27-53 頁。
- 市橋秀夫編（インタビュー資料）『青年労働者運動から障害者運動へ——アクティヴィスト岡崎務の軌跡』（岡崎務を語る会、2017 年）。
- 木村京子・黒田光太郎・市橋秀夫編（インタビュー資料）『野心と学びと運動と——倉田ヒデ子の回想』（地域レベル連研究会、2017 年）。
- 井上智勝「日本型儒教祭祀の形成——明治維新期の国家祭祀構築と整備」『宗教研究』91 巻別

- 冊、2018年、402-404頁。
- 井上智勝「氷川内記の時代——神道史における十七世紀中後期の位置 第41回特別展 氷川神社——大いなる宮居の歴史」さいたま市立博物館、2017年、65-70頁。
 - 小野寺史郎『中国ナショナリズム——民族と愛国の近現代史』中央公論新社、2017年。
 - 加地大介「特別寄稿・本書の穴を埋める」柴垣亮介・奥田太郎編『失われたドーナツの穴を求めて』さいはて社、2017年、214-218頁。
 - 加地大介「穴の物象性と因果性」『現代思想』（12月臨時増刊号：総特集 分析哲学）45巻21号、2017年、70-88頁。
 - 金井勇人「流れがスムーズになる指示詞の選び方」、石黒圭編『わかりやすく書ける作文シラバス』くろしお出版、2017年、99-118頁。
 - 金井勇人・河正一・金聖実「日本語との対照を通して諸言語の指示詞の特徴をみる——中国語・韓国語・ロシア語・タイ語をとりあげて」『埼玉大学日本語教育センター紀要』12号、2018年、15-26頁。
 - 川野靖子「『彼には積極性が欠けている』と『彼は積極性に欠けている』——『満ち欠け代換』の成立原理」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53巻2号、2018年、97-116頁。
 - 小林亜子「第10章マリー＝アントワネット・ドートリッシュ——宮廷の落日を彩り革命に散った王妃」、阿河雄二郎・嶋中博章編『フランス王妃列伝——アンヌ・ド・ブルターニュからマリー＝アントワネットまで』昭和堂、2017年、237-272頁。
 - 小林亜子「学説最前線 フランス革命期の公教育」『指導資料 研究編—世界史A』、帝国書院、2018年、56-63頁。
 - 小林亜子「フランスの植民地と人口問題（その101）～（その112）」『ESTRELA』277～288号、2016～2017年、（各号4～6頁の分割掲載）。
 - KONDOH Hisahiro, 'Stagnation of Integration in Aid Administration in South Africa—Choices between Norms, Interests and Power Balance' *JICA-RI Working Paper*, 167号, 2018, pp. 1-33.
 - 権純哲（資料翻刻）「高橋亨京城帝国大学講義：朝鮮思想史概説（下）」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53巻2号、2018年、117-175頁。
 - 権純哲（資料翻刻）「高橋亨京城帝国大学講義：朝鮮思想史概説（上）」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53巻1号、2018年、11-57頁。
 - 佐藤雅浩「放射能汚染に対する危機意識の社会的規定要因」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53巻2号、2018年、189-206頁。
 - Keisuke Okada and Sovannroeun Samreth, 'Corruption and Natural Resource Rents: Evidence from Quantile Regression' *Applied Economics Letters*, vol. 24, 2017, pp. 1490-1493.
 - Masayuki Sato, Sovannroeun Samreth and Kengo Sasaki, 'The Impact of Institutional Factors on the Performance of Genuine Savings', *International Journal of Sustainable Development & World Ecology*, vol.

- 25, 2018, pp.56-68.
- Sovannroeun Samreth, 'Findings from a Preliminary Survey of Poor Households in Rural Cambodia: A Case of a Commune in Prey Veng Province', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 53(1), 2018, pp. 59-70.
 - 嶋津拓「近代ドイツの外来語排斥運動から考える」『ことばと文字』、8号、2017年、132-140頁。
 - 嶋津拓「外国人移住者と滞日留学生に対する言語政策についての日本国民の意識——インターネット調査の結果から」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53巻1号、2018年、71-89頁。
 - 嶋津拓「日本語教育という活動に対する日本居住者の意識について——インターネット調査の結果から」『埼玉大学日本語教育センター紀要』、12号、2018年、3-13頁。
 - 高橋克也「カントの『X』とヘリゲルの『それ』『理想』、700号、2018年、49-63頁。
 - Yusuke Takahata, 'Marlow's Psychology and His Two Narrative Perspectives in Lord Jim', *Yearbook of Conrad Studies*, vol. 11, 2017, pp. 43-58.
 - 石澤一志・酒井茂幸・武井和人・日高愛子・山本啓介「室町期歌会資料集成稿——釈文と略解題（五）」『研究と資料』77号、2017年、13-29頁。
 - 石澤一志・酒井茂幸・武井和人・日高愛子・山本啓介「室町期歌会資料集成稿——釈文と略解題（六）」『研究と資料』78号、2017年、11-34頁。
 - 石澤一志・酒井茂幸・武井和人・日高愛子「国立歴史民俗博物館蔵田中本室町期歌会資料四点——釈文・略解題」『埼玉大学紀要 教養学部』53巻1号、2018年、39-59頁。
 - 外山紀久子「ポストモダンダンスと身心変容技法：聞こえない音楽、聴く身体」『身心変容技法研究』第7号 169-179頁。
 - 外山紀久子「『劇場の芸術』と『美術館の芸術』のはざままで——京都で、雨だった」（電子サイト記事）、京都造形芸術大学共同研究 2013-2018『イヴォンヌ・レイナーを巡るパフォーマティブ・エクシビジョン』（<http://www.nanakonakajima.com/rainer/>）
 - 外山紀久子（事典項目執筆）「モダンダンス」、アメリカ学会編『アメリカ文化事典』、丸善出版、2018年、690-691頁。
 - トーヴェ・ビュールク「二代目市川団十郎日記詳解-享保十九年二月」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53巻1号、2018年、75-86頁。
 - トーヴェ・ビュールク「二代目市川団十郎日記詳解-享保十九年三月」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53巻1号、2018年、11-28頁。
 - Nakauchi Chouji (translated by Tove Bjoerk 【歌舞伎座上演演目英語字幕】), 'Flower Viewing at Daigo-ji Temple' (原著：中内蝶二「醍醐の花見」)。
 - Suga Sensusuke (translated by Tove Bjoerk 【歌舞伎座上演演目英語字幕】), 'Love's Weir in the Katsura River', (原著：菅専助「桂川連理柵」)。

- Segawa Jokou (translated by Tove Bjoerk 【歌舞伎座上演演目英語字幕】), ‘The Asakusa Temple Festival and Spring Flowers’, (原著：瀬川如阜「弥生の花浅草祭」) .
- Tsuruya Nanboku (translated by Tove Bjoerk 【歌舞伎座上演演目英語字幕】), ‘Vendetta at Kameyama’, (原著：鶴屋南北「霊験亀山鉾」) .
- Takeda Izumo, et. al. (translated by Tove Bjoerk 【歌舞伎座上演演目英語字幕】), ‘The Rise and Fall of the Heike and Genji Clans in Hiragana Writing’ (原著：竹田出雲など「ひらがな盛衰記」) .
- Mimasuya Nisouji (translated by Tove Bjoerk 【歌舞伎座上演演目英語字幕】), ‘Kanda Festival’ (原著：三桝屋二三次「神田祭」) .
- 平林紀子「米国大統領選挙のマーケティング(4): ドナルド・トランプのマーケティング戦略」『埼玉大学紀要（教養学部）』53 卷 2 号、2018 年、327-356 頁。
- Karl Friday, ‘Introduction’, in Karl F. Friday, ed., *The Routledge Handbook of Premodern Japanese History*, 2017, pp. 1-10.
- Karl Friday with Kawai Yasushi, ‘Medieval Warriors & Warfare’, in Karl F. Friday, ed., *The Routledge Handbook of Premodern Japanese History*, 2017, pp. 310-329.
- Karl Friday, ‘The Way of Which Warriors? Bushidō & the Samurai in Historical Perspective’, *Azijske Studije*, 6(2), 2017, pp. 15-31.
- Roger H. Brown, ‘The Bureaucracy and Politics’ in Sven Saaler & Christopher Szpilman, eds., *Routledge Handbook of Modern Japanese History*, 2017, pp. 212-224.
- Kato Yoko (translated by Roger H. Brown), ‘Perspectives on Fascism in Japanese Historiography’, in Sven Saaler and Christopher Szpilman, eds., *Routledge Handbook of Modern Japanese History*, 2017, pp. 225-236. (原著：加藤陽子「ファシズム論」『日本歴史』700 号、2006 年、143-153 頁) .
- 星野徹「人格の同一性と未来の痛み」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53 卷 1 号、2018 年、161-173 頁。
- 星野徹「汎心論と意識の統一」『埼玉大学紀要（教養学部）』、53 卷 2 号、2018 年、357-371 頁。
- 牧陽一「アイ・ウェイウェイ 2016 真相の究明」『現代中国』91 号、2017 年、35-51 頁。
- 牧陽一「艾未未（アイ・ウェイウェイ）のニューヨーク：デュシャン+ウィトゲンシュタイン+ギンズバーグ」『研究中国』、5 号、2017 年、30-38 頁。
- Alan George Milne, ‘The Changing Face of British Identity in Modern British Society’, 『津田塾大学紀要』2017 年 12 月特別号 I , pp. 65-77.
- Atsushi Miura, ‘Gestion coutumière de la production maraîchère et marché globalisant au Sénégal’, Josiane Stoessel-Ritz, Maurice Blanc, Ahcène Amarouche, *Penser les innovations sociales dans le développement durable: De la guerre à la paix*, Paris: L’Harmattan, 2018, pp. 185-199.
- 三浦敦「グローバル経済下のセネガルにおける慣習的野菜栽培経営」『埼玉大学紀要（教養学

- 部)』、53 卷 1 号、2018 年、75-183 頁。
- 宮田伊知郎「未来都市の米国現代史——郊外化、開発、ジェントリフィケーションにおける排除と包摂」『歴史学研究』(2017 年度年次大会増刊号)、963 号、2017 年、136-44 頁。
 - 明星聖子「嘘の探究」『(季刊) 大学出版』、110 号、2017 年、14-19 頁。
 - Makoto Nagasawa, 'University Ranking and Enrollment Patterns: A Statistical Analysis on Female Participation in Japanese Higher Education', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 53(2), 2018, pp. 287-314.
 - 中川聡史「海外に向かう日本の高齢者」『統計』、68 卷 11 号、2017 年、33-38 頁。
 - 中村大介・藁哲男「楯築墳丘墓出土玉類の産地同定」『埼玉大学紀要(教養学部)』、53 卷 1 号、2018 年、113-132 頁。
 - 中村大介「草原地帯東部の初期遊牧民の出現と生業」『待兼山考古学論集 3』(大阪大学考古学研究室 30 周年記念論集)、2018 年、65-79 頁。
 - 中本進一「多文化共生政策の基盤としての『留学生 30 万人計画』——異文化間教育的視座からの考察」『埼玉大学紀要(教養学部)』、53 卷 2 号、2018 年、315-326 頁。
 - Valerij Gretchko, SooHwan Kim, Susumu Nonaka, eds., *Russian Culture under the Sign of Revolution: Far East, Close Russia: The Evolution of Russian Culture*. vol. 2, Logos, pp. 105-114.
 - НОНАКА Сусуму(野中進) Платонов между реализмом и модернизмом: сравнение как конструктивный принцип романа (「リアリズムとモダニズムの間のプラトーフ: 長編小説の構成原理としての直喩」), "Страна философов" Андрея Платонова: проблемы творчества. Выпуск 8. Андрей Платонов и его современники. Исследования и материалы (『アンドレイ・プラトーフの「哲学者の国」: 創作の諸問題』), 8, 2017, 176-182.
 - НОНАКА Сусуму(野中進), Запас лиризма: К жанровой соотнесенности стихов и прозы Андрея Платонова (「抒情のストック: アンドレイ・プラトーフの詩と散文の相関によせて」), Поэтика Андрея Платонова, 3, 2017, 90-103.
 - НОНАКА Сусуму(野中進), Как выражение получает свою форму и утешает человека. Кодному мотиву в письмах А. Платонова (「表現はいかに形を得て、人を慰めるか—アンドレイ・プラトーフの手紙の一節によせて」), Философский полилог (『フィロソフスキー・ポリローク』), 1, 2017, 111-125.
 - Nao Nomura, 'Consumption in Practice: Gift-giving as Mutual Aid in Amish Direct Homes Sales', *New American Notes Online*, July 2007 (<https://nanocrit.com/issues/issue11/Mutual-Aid-in-Nature-Consumption-in-Practice-Direct-Homes-Sales-as-a-form-of-gift-giving-in-Amish-Society>).
 - 山本良「国際社会のグローバル化と国際法形成仮定の現代的側面に関する一考察——非国家的行為主体による『基準設定』の検討を中心として」『国際法研究』、5 号、2017 年、71-98 頁。
 - 山中信彦『世界の裁判 見て歩こう わたし流外国語上達法』、幻冬舎(幻冬舎ルネッサンス新

- 書)、2017 年。
- Hisato Fukuda, Keiichi Yamazaki, Akiko Yamazaki, Yosuke Saito, Emi Iiyama, Seiji Yamazaki, Yoshinori Kobayashi, Yoshinori Kuno, Keiko Ikeda, ‘Enhancing Multiparty Cooperative Movements: A Robotic Wheelchair that Assists in Predicting Next Actions’ (Poster Session 2), *Proceedings of the 20th ACM International Conference on Multimodal Interaction*, 2018, pp. 409-417.
 - 小松由和・山崎晶子・山崎敬一・小林貴訓・福田悠人・森田有希野・図子智紀・清水美和 「ロボットシステムを高齢者支援において使用する際の視点に関する社会学的工学的分析」『電子情報通信学会技術研究報告』116 巻 524 号、2017 年、85-88 頁。
 - 劉志偉「二格名詞句に関する一考察——日中対照研究の見地から」、庵功雄・杉村泰・建石始・中俣尚己・劉志偉編『中国語話者のための日本語教育文法を求めて』、日中言語文化出版社、2017 年、15-29 頁。
 - 劉志偉「新しい日本語教育のアクセント学習において必要なもの——中国人日本語学習者の〈学習メモ〉の分析から」『言語の研究』、2017 年、3 号、31-43 頁。